

## 第2章地下水の水質測定結果

### I 調査の概要

#### 1 調査期間（測定期間）

平成20年4月～平成21年3月

#### 2 調査井戸（測定井戸）

測定井戸は、表-8、9に示すとおり、概況調査は75井（うち、金沢市6井）、定期モニタリング調査（継続監視）は、揮発性有機塩素化合物に係る調査井戸が81井（うち、金沢市28井）、鉛に係る調査井戸が1井、ヒ素に係る調査井戸が10井、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素に係る調査井戸が5井、フッ素に係る調査井戸が2井、ホウ素に係る調査井戸が2井である。

新たに検出または環境基準超過が判明した井戸については、表-10に示すとおりで、5井で汚染井戸周辺地区調査を行った。

#### 3 調査項目（測定項目）

##### (1) 概況調査

カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、フッ素、ホウ素、水温、pH、電気伝導率

##### (2) 定期モニタリング調査（継続監視）

###### ① 揮発性有機塩素化合物

ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン  
水温、pH、電気伝導率

###### ② 鉛

鉛、水温、pH、電気伝導率

###### ③ ヒ素

ヒ素、水温、pH、電気伝導率

- ④ 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素  
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、水温、pH、電気伝導率
- ⑤ フッ素  
フッ素、水温、pH、電気伝導率
- ⑥ ホウ素  
ホウ素、水温、pH、電気伝導率

(3) 汚染井戸周辺地区調査

- ① ヒ素  
ヒ素、水温、pH、電気伝導率

#### 4 調査頻度（測定頻度）

- (1) 概況調査  
1回／年
- (2) 定期モニタリング調査（継続監視）  
2回／年
- (3) 汚染井戸周辺地区調査  
新たに検出または環境基準超過が判明した場合、随時。

表-8 概況調査井戸本数

市町名	調査井戸 本数	調査機関
金沢市	6	金沢市
七尾市	4	石川県
小松市	7	〃
輪島市	6	〃
珠洲市	2	〃
加賀市	7	〃
羽咋市	4	〃
かほく市	3	〃
白山市	7	〃
能美市	5	〃
川北町	1	〃
野々市町	2	〃
津幡町	1	〃
内灘町	2	〃
志賀町	6	〃
宝達志水町	3	〃
中能登町	3	〃
穴水町	3	〃
能登町	3	〃
県合計	69	—
合計	75	—

表-9 定期モニタリング調査(継続監視)井戸本数

調査項目	市町名	調査井戸 本数	調査機関
揮発性有機塩素化合物	金沢市	28	金沢市
	七尾市	1	石川県
	小松市	14	〃
	輪島市	3	〃
	加賀市	2	〃
	羽咋市	6	〃
	かほく市	3	〃
	白山市	16	〃
	能美市	1	〃
	野々市町	4	〃
	津幡町	1	〃
	志賀町	2	〃
	合計	81	—
鉛	加賀市	1	石川県
	合計	1	—
ヒ素	加賀市	1	石川県
	羽咋市	5	〃
	内灘町	1	〃
	穴水町	1	〃
	能登町	2	〃
合計	10	—	
硝酸性窒素 及び亜硝酸 性窒素	小松市	4	石川県
	宝達志水町	1	〃
	合計	5	—
フッ素	加賀市	2	石川県
	合計	2	—
ホウ素	小松市	2	石川県
	合計	2	—

表-10 汚染井戸周辺地区調査井戸本数

調査項目	市町名	調査井戸本数	調査機関
ヒ素	小松市	4	石川県
	志賀町	1	〃
	合計	5	—